

事務事業評価シート

(平成 24 年度実施事業)

事務事業名	盛岡地区衛生処理組合事務事業			事業コード	0265
所属コード	053500	課等名	廃棄物対策課	係名	計画整備係
課長名	根本俊英	担当者名	土橋 和也	内線番号	8307
評価分類	☒ 一般 ☐ 公の施設 ☐ 大規模公共事業 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				

1 事務事業の基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	環境との共生	コード	6
	施策	生活環境の保全	コード	1
	基本事業	環境衛生の確保	コード	1
予算費目名	一般会計 4 款 2 項 1 目 一部事務組合負担金(003-01)			
特記事項				
事業期間	☐ 単年度 ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度		開始年度	年度
根拠法令等	地方自治法, 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(第 4 条), 盛岡地区衛生処理組合規約			

(2) 事務事業の概要

盛岡市, 雫石町及び滝沢村で構成する盛岡地区衛生処理組合に対し, 構成市として負担金を納入するとともに, 組合の運営について構成市町村間で協議し, 廃棄物(し尿及び浄化槽汚泥)の適正な処理を図る。

(3) この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)

盛岡地区衛生処理組合は, 昭和 45 年に盛岡市, 雫石町及び滝沢村のし尿等の処理を共同で行うため 3 市町村で設立した一部事務組合である。組合の運営費は, 構成市町村が応分の負担をしている。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

公共下水道の普及により処理量は減少傾向にある。

2 事務事業の実施状況 (Do)・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 対象(誰が, 何が対象か)

- ① 盛岡市(盛岡地域に限る。), 雫石町及び滝沢村のし尿処理を行う盛岡地区衛生処理組合。
- ② 盛岡地域から排出されるし尿及び浄化槽汚泥。

(2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	22 年度 実績	23 年度 実績	24 年度 計画	24 年度 実績	26 年度 見込み
A 盛岡地区衛生処理組合	組合	1	1	1	1	1
B 盛岡地域のし尿汲取り及び浄化槽世帯数	世帯	8,357	7,943	7,943	7,943	7,943
C						

(3) 24 年度に実施した主な活動・手順

- ① 組合構成市として事務担当者会議等に出席し、組合の事業等について関係町村と協議した。
- ② 盛岡地域から排出されたし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理した。
- ③ 組合運営費の一部を負担した。

※ 負担割合は、経費の 1/10 が均等割(構成市町村で均等に 3 分割)、9/10 が利用割(前年 10 月時点のし尿処理場利用実績により構成市町村の負担割合を算出)となっている。

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	22 年度 実績	23 年度 実績	24 年度 計画	24 年度 実績	26 年度 見込み
A 事務局会議等の出席回数	回	8	8	8	8	8
B 適正に処理されたし尿及び浄化槽汚泥の総処理量	kl	16,056	16,575	14,480	14,480	14,480
C 一日当たりのし尿及び浄化槽汚泥の処理量(し尿及び浄化槽汚泥の年間処理量÷処理施設稼働日数)	kl	44.0	45.9	39.7	39.7	39.7

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

組合の事業が適正かつ効率的に運営されることにより、対象である盛岡地域のし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理する。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	22 年度 実績	23 年度 実績	24 年度 計画	24 年度 実績	26 年度 見込み
A 適正に処理されたし尿及び浄化槽汚泥の割合(適正に処理されたし尿及び浄化槽汚泥の量÷適正に処理すべきし尿及び浄化槽汚泥の量)	☐ 上げる ☐ 下げる ☒ 維持	%	100	100	100	100	100
B	☐ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持						
C	☐ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	22 年度実績	23 年度実績	24 年度計画	24 年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	229,594	228,648	233,466	233,466
	⑤その他()	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	229,594	228,648	233,466	233,466
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	62	62	62	62
	B 職員人件費 ⑥×4,000 円	千円	248	248	248	248
計	トータルコスト A+B	千円	229,842	228,896	233,714	233,714
備考						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

① 施策体系との整合性

結びついている。当該組合へ適正かつ効率的に運営されるよう働きかけることにより、し尿等が適正に処理され生活環境の保全に結びつく。

② 市の関与の妥当性

妥当である。法定事務である。

③ 対象の妥当性

現状で妥当である。法定事務である。

④ 廃止・休止の影響

影響がある。盛岡地域から発生するし尿等を適正に処理できなくなる。

(2) 有効性評価（成果の向上余地）

向上余地がある。当該組合が適正かつ効率的に運営されることにより、し尿等の適正処理が図られ、経費の削減や環境負荷への軽減が見込まれる。

(3) 公平性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

公平・公正である。東部山間部を含め盛岡地域におけるし尿処理等が必要な区域全体に対して処理できる体制を整えている。

(4) 効率性評価

上げる方法がある。

平成 21 年度から当該組合は包括的民間委託を実施し経費削減を図っているが、組合の運営が適正かつ効率的に行われるよう更なる働きかけを行うことにより、事業費の削減が見込まれる。

4 事務事業の改革案（Plan）・・・・・・・・・・・・・・・・

（1）改革改善の方向性

当該組合の事業について，適正かつ効率的に運営されるよう働きかける。

（2）改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

当該組合の構成市町村間において，組合の運営及び事務効率化に対する認識が異なる部分があるため，会議等で構成市町村の意識統一を図る必要がある。

5 課長意見・・・・・・・・・・・・・・・・

（1）今後の方向性

- ☒ 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- ☐ 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- ☐ 終了・廃止・休止

（2）全体総括・今後の改革改善の内容

一部事務組合の運営事務であることから現状維持とする。構成団体として組合の効率的な運営を進めるため，し尿処理の広域化を含め，引き続き協議していく必要がある。